

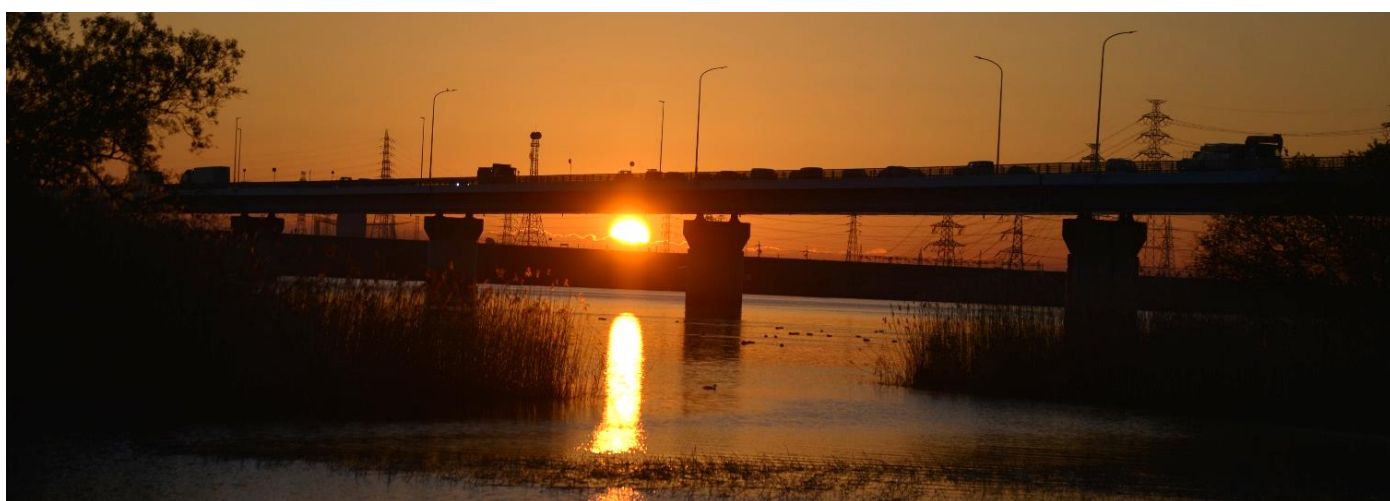
あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

愛知・岐阜・三重 三県の県境



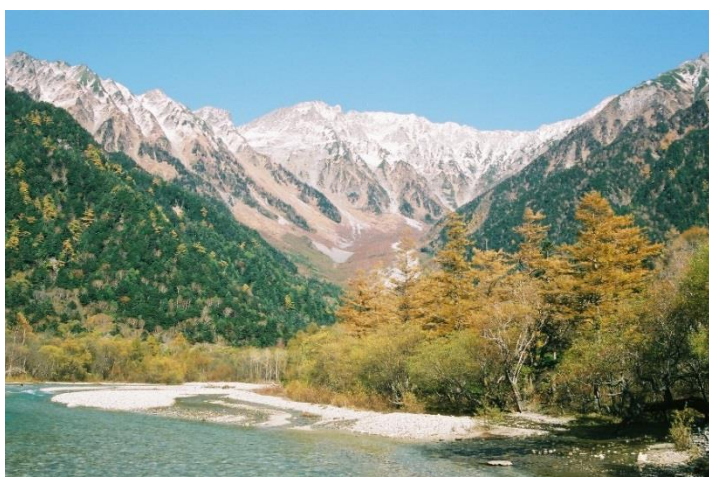
あけましておめでとうございます 今年もよろしく申し上げます

愛西市の西には、木曾・長良・揖斐川、いわゆる木曾三川が流れていますが、この流れが、愛知県と岐阜県、愛知県と三重県の県境となっています。そして、愛知・岐阜・三重の三県の県境となる地点が長良川にあります。

日本は全国47都道府県に分けられています。山国ですので、それぞれの県境を見ていくと、その多くが山稜にあります。愛知・岐阜・三重の三県の県境地点のような三県を分ける地点となる場所は全国に44ヶ所あり、有名な山として、甲武信（こぶし）岳（2475m）があります。この山は、甲州（山梨）・武州（埼玉）・信州（長野）の県境に位置しています。また、10ヶ所の三県の県境地点には、三国山という単純な名前が付けられています。愛知・岐阜・長野県の県境にも三国山（1162m）がありますし、三重・岐阜・滋賀県の県境も三国山（894m）です。ついでながら、標高が一番高い三県の県境は、長野・静岡・山梨県の県境にある三峰岳（2999m）で、南アルプスの中央部にあるため山慣れた登山者もなかなか行けない山です。

その一方で大河が県境となっている県もあります。川が三県の県境地点となっているのは8ヶ所で、その内の2ヶ所が愛知県にあり、天竜川にある愛知・長野・静岡の三県県境と、前述の愛西市にある愛知・岐阜・三重の三県県境です。この、全国でも珍しい川にある三県の県境へは、愛西市観光協会が運営している木曾川観光船で巡ることができます。

『氷壁』



60年前の1956（昭和31）年、ヒマラヤの高峰マナスル（8163m）が日本隊によって初登頂されます。また、井上靖氏の小説『氷壁』が朝日新聞に連載（翌年新潮社から単行本が刊行）され話題となり、当時、空前の登山ブームが発生するきっかけとなりました。そして、今年2016年は、8月11日が「山の日」として国民の祝日となります。

名作『氷壁』は、登山中に切れるはずのないナイロンザイル（ロープ）が切れたために友人が死亡した原因を、一緒に登山していた主人公が追う姿で展開していきます。これまでに映画化、さらに、何度もテレビドラマ化されていますが、この小説にはモデルがいます。それは、1955年に穂高岳で発生したナイロンザイル切断事件で遭難した若山五朗氏、そして、1949年に槍ヶ岳の北鎌尾根で遭難した松濤明氏と、彼を上高地で待っていた芳田美枝子さん他です。

ナイロンザイル切断事件は、産業界と登山界を巻き込んだ事件となり、**愛西市出身**で若山五朗氏の実兄である**石岡繁雄氏**（1918～2006年）が、ナイロンザイルが特定条件下では簡単に切断されることを証明され、1973年に決着します。そして、この事件は、工業製品が安全に使われる条件を示すべき法律・製造物責任（PL）法が1995年に施行される先駆けとなります。

石岡繁雄氏は登山家としても著名であり、北アルプスにある屏風岩への初登攀を記録した『屏風岩登攀記』などの著作もあります。石岡繁雄氏は愛西市出身、東海地区を代表する現代の偉人と言え、その遺品は名古屋大学に寄贈されています。

近年、愛西市出身の偉人で話題となっておられるのは、女性小説家・詩人の**稲葉真弓**（1950～2014年）さんです。稲葉真弓さんは海部郡佐屋町（現愛西市）に生まれ、津島高等学校を卒業後、仕事をしながら文筆活動に入り、23歳の時、小説『蒼い影の痛みを』で文壇にデビューして女流新人賞を受賞しました。その後も多くの小説や詩を書き、2008年『海松（みる）』で川端康成文学賞を、2011年に『半島へ』で谷崎潤一郎賞、中日文化賞を受賞されました。



2004年に中日新聞に連載された『環流』は、木曾川、長良川など何度も洪水があった輪中地域を舞台とした、高校生と母、祖母の物語で、川の風景、自然の描写が美しい作品です。

津島高等学校の同窓会「三稜会」は、地域の高校生を対象とした懸賞論文を募集し「稲葉真弓賞」を発表しています。また、校内に「稲葉真弓さん文学の軌跡」と称する展示コーナーを開設しています。

2014年に亡くなられ、佐屋西小学校の西門から北へ行った内佐屋町の内佐屋霊園に、晩年に出版された詩集の題名である『ひかりへの旅』と彫られた墓石が立てられています。

レンコン収穫最盛期

年末年始は愛西市の特産品であるレンコンの収穫最盛期です。今年は天候にも恵まれて豊作だそう
で、レンコン田のあちらこちらで重機が忙しく動いていました。今年の収穫には、中日新聞、N
HK朝イチなどの取材がありました。愛西市観光協会では、株式会社 清水食品 のご協力を得て、
家族で楽しめるレンコン掘り体験をご案内しています。興味のある人は、愛西市観光協会へ問い合
わせいただくか、観光協会HPをご覧ください。

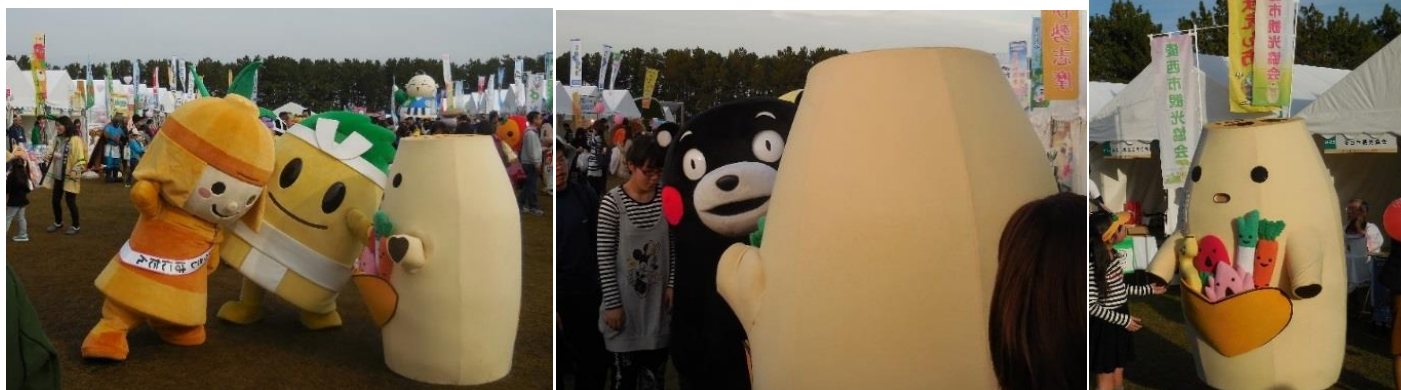
また、この季節は、空気も澄んで遠くの山々が見渡せ、雄大な木曾御岳山が雪化粧して噴煙を棚
引かせている姿などを望めます。NHKの生中継取材があった前日（12月7日）には、東海大橋
の東端から北アルプスの笠ヶ岳（写真右）や槍ヶ岳（写真左）が見えました。濃尾平野で槍ヶ岳が
見えるのは、愛知県内では東海大橋（愛西市）付近から濃尾
大橋（一宮市）付近など木曾川沿いの地域だけです。



ゆるキャラグランプリ 2015

昨年11月21日～23日の三連休、静岡県浜松市渚園特設会場で「ゆるキャラグランプリ 2015」
が開催されました。全国のご当地キャラクターの人気ナンバーワンを決める催事で、全国から15
00体以上のゆるキャラが終結し、愛西市のゆるキャラである「あいさいさん」も出演しました。
三日間で7万7千人が入場し、あいさいさんも大勢の来館者に囲まれて一緒に写真を撮ったり、有
名ゆるキャラ「くまモン」「いなっピー」などと友好を深めたりしました。

グランプリは、開催地地元・浜松市の「出世大名家康君」に、2位は来年開催地・愛媛県の「み
きゃん」に決まりました。この結果から、グランプリは開催地有利であり、「あいさいさん」が上
位進出するためには、愛西市の住民一人一人がインターネットで応援投票に参加して組織票を増や
し、また、個性あるキャラクターから話題性を創造して臨まなければいけないことがわかります。
2016年は、組織票を増やして上位入賞を狙いましょう。



1月31日は、I（あい）31（さい）の日

“あいさいフェスティバル” 9：00～ 於：愛西市文化会館

～ 観光協会が関連する 今後の予定 ～

2016年

1月31日（日）あいさいフェスティバル（於：愛西市文化会館）

2月20日（土）・21日（日）

尾張津島天王祭市江車 ユネスコ無形文化遺産登録に向けての啓発事業
～ 祭りへの情熱の継承 ～ （主催：愛西市 於：愛西市役所）

2月27日（土）あいさいジュニア検定（於：愛西市文化会館）

V G 1月定例会の予定

集合時間：1月17日（日）9時00分

集合場所：愛西市文化会館

内 容：2月の催事について

あいさいボランティアガイドの会 12月定例会 議事録

◆会議（12月20日（日）9時～、於：愛西市文化会館、23名出席）

1) 1・2月の催事への協力体制を確認しました。

①1月30日（土）・31日（日）あいさいフェスティバル（設営準備を含む）

②2月20日（土）・21日（日）ユネスコ無形文化遺産登録に向けての啓発事業

当日ボランティア協力いただける方は、事務局までご連絡下さい。

2) 第2回バス研修（亀山市関宿）の日程（2月12日（金））を確認しました。

3) その他の連絡事項

①ジュニア検定、ならびに検定テキスト発刊について

②NHK・東海テレビの放映、中日新聞の日曜版について

③町方町姥ヶ森神社の「茅ノ輪神事」（1月4日）について

④愛西市野鳥観察会（1月30日）と

鍋田干拓地のナベツルについて

⑤佐織公民館事業「自分史入門」について

⑥今後の定例会活動での事例報告会の開催、

観光船の船頭グループとの交流会などについて

熱田神宮のガイドについて



2月27日 午前10：00～ “あいさいジュニア検定”

於：愛西市文化会館 公式テキスト『あいさい物語ジュニア版』を購入すれば検定料は免除

『あいさい物語ジュニア版』は、観光協会（道の駅 立田ふれあいの里）他で販売中

愛西市の新春神事 1月4日（月）10時頃～ 茅ノ輪くぐり神事（町方町 姥ヶ森神社）